



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月28日

上場会社名 株式会社Aiming 上場取引所 東  
 コード番号 3911 URL <http://aiming-inc.com/ja>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎葉忠志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理グループゼネラルマネージャー (氏名) 田村紀貴 (TEL) 03(6672)6159  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,116	△30.2	△146	—	△148	—	△155	—
2019年12月期第1四半期	1,598	—	59	—	54	—	48	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△4.33	—
2019年12月期第1四半期	1.39	1.37

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,451	1,506	61.3
2019年12月期	2,249	1,107	49.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,503百万円 2019年12月期 1,107百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年12月期	0.00	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,355	△20.4	△365	—	△367	—	△377	—	△10.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、スマートフォンを中心としたオンラインゲーム事業を展開しており、短期的な変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとの決算短信発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期1Q	37,146,000株	2019年12月期	36,233,600株
2020年12月期1Q	0株	2019年12月期	781,500株
2020年12月期1Q	35,888,886株	2019年12月期1Q	34,775,954株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期貸借対照表 .....	2
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5
2. その他 .....	6
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	6

## 1. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	860,225	1,340,684
売掛金	643,113	361,841
仕掛品	76,098	119,813
コンテンツ	109,044	87,235
貯蔵品	258	262
その他	145,992	164,951
貸倒引当金	△77	△35
流動資産合計	1,834,655	2,074,752
固定資産		
有形固定資産	1,918	2,450
無形固定資産	481	349
投資その他の資産		
敷金及び保証金	409,131	370,864
その他	2,994	2,994
投資その他の資産合計	412,126	373,859
固定資産合計	414,526	376,659
資産合計	2,249,181	2,451,412
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,325	67,465
1年内返済予定の長期借入金	375,180	250,200
未払金	283,575	167,668
未払法人税等	30,093	7,330
未払消費税等	74,073	57,108
賞与引当金	—	9,919
その他	240,369	240,261
流動負債合計	1,066,618	799,953
固定負債		
長期末払金	75,065	144,588
固定負債合計	75,065	144,588
負債合計	1,141,683	944,542

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,304,854	3,463,924
資本剰余金	3,294,854	3,453,924
利益剰余金	△5,130,824	△5,414,655
自己株式	△361,386	—
株主資本合計	1,107,498	1,503,193
新株予約権	—	3,677
純資産合計	1,107,498	1,506,870
負債純資産合計	2,249,181	2,451,412

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,598,885	1,116,735
売上原価	525,266	424,130
売上総利益	1,073,618	692,605
販売費及び一般管理費	1,013,987	838,882
営業利益又は営業損失(△)	59,631	△146,277
営業外収益		
受取利息	68	49
受取手数料	279	754
補助金収入	3,713	—
その他	106	267
営業外収益合計	4,167	1,071
営業外費用		
支払利息	3,499	689
為替差損	2,130	2,569
株式交付費	3,525	—
その他	242	—
営業外費用合計	9,397	3,259
経常利益又は経常損失(△)	54,401	△148,465
特別利益		
新株予約権戻入益	14,400	—
特別利益合計	14,400	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	68,801	△148,465
法人税、住民税及び事業税	20,383	7,027
法人税等合計	20,383	7,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,418	△155,492

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間において、新株予約権の権利行使による新株式の発行および自己株式の処分を行い、資本金および資本準備金がそれぞれ159,069千円増加し、自己株式が361,386千円減少しました。

その結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が3,463,924千円、資本剰余金が3,453,924千円となり、当社保有の自己株式はすべて処分いたしました。

(セグメント情報等)

当社は、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. その他

### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第1四半期累計期間まで継続して営業損失、経常損失、四半期（当期）純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社は、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策の実施を進めております。

#### ①事業基盤の強化

『剣と魔法のログレス いにしえの女神』や『CARAVAN STORIES』などのサービス中タイトルについては、より効率的な運営体制を構築することで、収益改善を図ってまいります。

また、開発中タイトルについては、2020年2月5日に発表した『ドラゴンクエストタクト』の共同開発に経営資源を集中し、ゲーム品質の向上と開発遅延による開発コスト増加を避け、早期の収益化が実現できるよう取り組んでまいります。

#### ②拠点の人員体制見直しによる費用の削減

当社は、当第1四半期累計期間において、サービス中タイトルの減少と開発中タイトルの本数を鑑み、台湾スタジオの従業員数の最適化を実施しました。また、2020年4月1日を効力発生日として、株式会社ドキドキグローヴワークスへ、大阪スタジオを譲渡しており、第2四半期以降の人件費や拠点維持にかかる費用の削減が見込まれております。

引き続き、事業の状況に応じて、収益基盤と営業キャッシュ・フローの改善に取り組んでまいります。

#### ③財務基盤の安定化

財務面につきましては、当第1四半期累計期間において、第7回新株予約権の行使が行われ、483,877千円の資金を新たに調達したことにより、手元資金の状況は改善されました。今後も市場の状況を鑑みながら同新株予約権の行使による調達を促していくとともに、必要に応じて他の資金調達方法も検討してまいります。

これらの改善策を適切に推進していくことから、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。